

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シーマ

 コード番号 7638 URL <http://www.cima-ir.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 白石 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8098

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,491	△13.2	△174	—	△177	—	△43	—
26年3月期第1四半期	1,718	△20.0	△265	—	△271	—	△281	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △43百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △283百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△0.22	—
26年3月期第1四半期	△1.53	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,929	—	3,096	—	—	52.2
26年3月期	6,360	—	3,150	—	—	49.5

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,096百万円 26年3月期 3,150百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,208	△14.7	△110	—	△117	—	△134	—	△0.73
通期	6,896	△10.3	171	—	157	—	123	—	0.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	199,715,644 株	26年3月期	199,715,644 株
27年3月期1Q	105,036 株	26年3月期	104,527 株
27年3月期1Q	199,610,893 株	26年3月期1Q	183,663,173 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されてる業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、四半期決算短信[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)におけるわが国経済は、消費増税の駆け込み需要の反動減の影響が見受けられますが、雇用環境が改善し消費が持ち直していることもあり、前回の増税時に比べ反動減の大きさは限定的となっております。しかし、腕時計や家具、宝飾品など的高額品については前年割れが続き、依然厳しい状況が続いております。

このような経済状況のもと、当第1四半期連結累計期間における当社および当社の関係会社(以下、当社グループという)の業績については、売上高については、増税の影響を織り込んでいたため、当初予算の範囲内で終了致しましたが、集客が想定を下回ったことから苦戦を強いられ、昨年実績を上回ることはできませんでした。一方、棚卸資産の現金化により粗利益率は一時的に悪化しつつある状態ながらも、経費面では前年同四半期と比較して販管費が2割程度削減され、6月は単月で営業黒字となっております。

店舗の状況については、6月にエクセルコ ダイヤモンド天王寺店、エクセルコ ダイヤモンド心斎橋店を閉店し、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は52店舗となりました。(銀座ダイヤモンドシライシ34店舗、エクセルコ ダイヤモンド18店舗)

また、銀座ダイヤモンドシライシ金沢店、エクセルコ ダイヤモンド金沢店の2店は再開発地域となり、両店舗の立ち退き要請を受けておりましたが、地権者との和解が成立致しました。8月末日をもって両店舗ともに賃貸借契約を解除し閉店することとなり、和解金として1億68百万円を特別利益に計上しております。(本日開示した「特別利益および特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。)

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高14億91百万円(前年同四半期比13.2%減)、営業損失1億74百万円(前年同四半期は、営業損失2億65百万円)、経常損失1億77百万円(前年同四半期は、経常損失2億71百万円)、四半期純損失43百万円(前年同四半期は、四半期純損失2億81百万円)となりました。

前年同四半期より赤字幅は縮小しておりますが、通期黒字化を達成できるよう、下半期へ向けて一層の集客・売上改善策に取り組んでまいります。

当社グループの販売・サービス別の売上は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	販売・サービスの名称など	当第1四半期連結累計期間(千円) (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	前年同四半期比 (%)	構成比 (%)
ブライダル事業	ブライダル関連販売・サービス	1,340,037	81.7	89.8
	ファッション関連販売・サービス	96,145	125.1	6.5
	その他(注)2	54,950	—	3.7
合 計		1,491,133	86.8	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。

2. 「その他」は、催事・本社関連などの売上となっております。

3. 「ブライダル関連販売・サービス」は、ブライダルジュエリー販売、ウェディング送客サービス、ティアラ・レンタルサービスおよび連結子会社の売上となっております。「ファッション関連販売・サービス」は、ファッションジュエリー販売の売上となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比3億69百万円減少(前連結会計年度末比8.5%減)し、39億54百万円となりました。主な要因としては、短期貸付金の増加6億85百万円、現金及び預金の減少8億28百万円、商品及び製品の減少2億26百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比60百万円減少(同3.0%減)し、19億74百万円となりました。主な要因としては、有形固定資産の減少52百万円などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比6.8%減少し、59億29百万円となりました。

## (負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比4億円減少(前連結会計年度末比13.5%減)し、25億67百万円となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金の減少1億76百万円、借入金・社債の減少1億26百万円、未払法人税等の減少28百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比23百万円増加(同9.7%増)し、2億65百万円となりました。主な要因としては、預り保証金の増加19百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比11.7%減少し、28億32百万円となりました。

## (純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比53百万円減少(前連結会計年度末比1.7%減)し、30億96百万円となりました。主な要因としては、四半期純損失による利益剰余金の減少43百万円、会計方針の変更に伴う利益剰余金の減少10百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は52.2%(前連結会計年度末は49.5%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月28日付で当社の連結子会社である株式会社ウェディングサポートは、株式会社ビューティーパートナーズの保有する株式会社ニューアート・ラ・パルレの全株式を取得し、同社を子会社化(当社の孫会社化)致しました。平成27年3月期の第2四半期(累計)および通期における連結業績予想への影響につきましては、現在精査中であり、精査の結果、業績予想の修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせ致します。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(退職給付に関する会計基準の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率を使用する方法から、単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が10,289千円増加し、利益剰余金が同額減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,216,715	388,661
受取手形及び売掛金	344,006	217,286
商品及び製品	2,263,274	2,036,625
原材料及び貯蔵品	49,375	49,375
前払費用	133,385	119,072
短期貸付金	230,540	916,520
その他	87,411	227,771
貸倒引当金	△334	△423
流動資産合計	4,324,375	3,954,889
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物附属設備(純額)	216,674	185,110
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	906,340	885,090
その他	—	168
有形固定資産合計	1,123,014	1,070,368
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	20,210	18,079
電話加入権	4,932	4,932
無形固定資産合計	25,142	23,012
<b>投資その他の資産</b>		
長期前払費用	10,262	9,979
長期貸付金	5,630	4,389
敷金及び保証金	870,728	866,076
その他	14,419	14,428
貸倒引当金	△13,528	△13,527
投資その他の資産合計	887,511	881,345
固定資産合計	2,035,668	1,974,727
資産合計	6,360,043	5,929,616

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	241,315	64,750
短期借入金	1,830,000	1,749,000
1年内償還予定の社債	125,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	51,260	30,416
未払金及び未払費用	384,911	321,741
未払法人税等	42,390	14,113
前受金	230,132	195,423
その他	62,488	91,615
流動負債合計	2,967,498	2,567,061
固定負債		
社債	50,000	50,000
退職給付に係る負債	189,983	194,555
長期未払金	1,911	1,707
その他	500	19,543
固定負債合計	242,395	265,805
負債合計	3,209,894	2,832,866
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,953,193	1,953,193
資本剰余金	1,712,094	1,712,094
利益剰余金	△511,512	△565,495
自己株式	△1,943	△1,954
株主資本合計	3,151,830	3,097,837
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,681	△1,087
その他の包括利益累計額合計	△1,681	△1,087
純資産合計	3,150,149	3,096,750
負債純資産合計	6,360,043	5,929,616



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,718,387	1,491,133
売上原価	582,243	540,793
売上総利益	1,136,144	950,340
販売費及び一般管理費	1,401,937	1,124,582
営業損失(△)	△265,793	△174,241
営業外収益		
受取利息	39	2,657
為替差益	2,416	—
その他	—	793
営業外収益合計	2,455	3,450
営業外費用		
支払利息	6,657	5,638
社債利息	1,129	595
その他	216	439
営業外費用合計	8,003	6,673
経常損失(△)	△271,341	△177,464
特別利益		
固定資産売却益	—	103
受取和解金	—	168,555
特別利益合計	—	168,659
特別損失		
減損損失	2,098	27,041
特別損失合計	2,098	27,041
税金等調整前四半期純損失(△)	△273,440	△35,847
法人税、住民税及び事業税	8,065	7,845
法人税等合計	8,065	7,845
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△281,506	△43,692
四半期純損失(△)	△281,506	△43,692

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△281,506	△43,692
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,535	594
その他の包括利益合計	△1,535	594
四半期包括利益	△283,041	△43,098
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△283,041	△43,098

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## 1. 子会社による株式の取得

当社は、平成26年7月28日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社ウェディングサポートが、株式会社ニューアート・ラ・パルレの全株式を取得し、同社を子会社(当社の孫会社)とすることを決議致しました。

株式会社ウェディングサポートは、平成26年7月28日付けで株式会社ニューアート・ラ・パルレの株式譲渡契約を締結し、同日付けで株式の取得を完了しております。

## (1) 株式取得の目的

当社グループは、ブライダルジュエリーを販売する小売業の会社で全国52店舗を展開しております。ブライダルジュエリー業界は近年参入企業が増加し、過当競争になっていることに加えて、長期的には婚姻数が減少していく傾向にあります。

このような状況下において、当社は業績の拡大を図るため、異業種分野への進出を検討してまいりました。株式会社ニューアート・ラ・パルレは、全国にエステ事業を展開する株式会社ビューティーパートナーズが新設分割したことにより設立した会社であり、「L a P a r l e r ~ラ・パルレ~」の名称で全国26店舗を運営しております。

当社グループは異業種分野の企業を取り込むことで、新しい顧客層を獲得し、それぞれの会社にとって高い相乗効果を見込んでおります。どちらの事業も若い女性を中心顧客層としており、同時に美しいものに関心がある顧客層であるため、相互に顧客を紹介することができ、効果的な集客が期待できます。

## (2) 株式を取得した子会社の概要

商号	株式会社ウェディングサポート
所在地	東京都中央区銀座一丁目15番2号
代表者	代表取締役 田巻 雄太郎
事業内容	結婚式場紹介
資本金	15,000千円
設立年月日	平成23年9月7日

## (3) 株式の取得先

株式会社ビューティーパートナーズ

## (4) 取得した株式の発行会社の概要

商号	株式会社ニューアート・ラ・パルレ
所在地	東京都中央区銀座一丁目15番2号
代表者	代表取締役 前嶋 喜美代
事業内容	エステティックサロン運営
資本金	90,000千円

## (5) 株式取得日 平成26年7月28日

## (6) 取得した株式の総数、取得価額、及び取得後の議決権保有割合

取得した株式の総数	9,000株
取得価額	1,332,000千円
取得後の議決権保有割合	100%

## (7) 取得資金の調達方法

自己資金